

## 「中学生日記」が国際エミー賞を受賞

世界の優れたテレビ番組に贈られる「国際エミー賞」の子ども向け番組の各部門について、受賞作品がアメリカ・ニューヨークで 8 日(金)夜(日本時間の9日午前)発表され、このうち子どもシリーズドラマ部門でNHKの「中学生日記」が最優秀賞(国際エミー賞)に選ばれました。

### 《子どもシリーズドラマ部門 国際エミー賞(部門最優秀賞)》

#### 中学生日記 転校生シリーズ「僕と君のメロディ」

(2011 年 9 月 2 日放送 28 分 30 秒)

「中学生日記」は、NHK名古屋放送局が現役中学生の実体験をもとに作ってきたドキュメンタリー要素の強いドラマ番組。前身の番組から数えて50年間、その時代の中学生の悩みを描くことで、多くの同世代や親の世代、そして学校関係者の共感を得てきた。

今回の受賞作品は、吃音であるため話すことに自信がもてず心を閉ざした男子中学生を主人公に、彼がクラスメートとピアノの連弾を行うことを通じて心の交流を少しずつ果たしていく物語。ドラマは、吃音の男子中学生の実体験がもとになっていて、この男子生徒が主人公を演じている。また、番組では、ドラマのほかに主人公を演じた少年のインタビューもあわせて放送し、大勢のスタッフに囲まれながら自分自身を演じたことで人間的に成長した少年の姿を描いた。



### 《国際エミー賞について》

世界のおよそ 50 の国と地域の 500 の放送機関などが加盟する「国際テレビ芸術科学アカデミー」(International Academy of Television Arts and Sciences)が 1969 年に創設した、アメリカ以外で制作された優秀なテレビ番組に贈られる賞。ドキュメンタリー、アート、コメディ、エンターテインメント、ドラマ、ニュース、最優秀男優、最優秀女優など計 20 部門あり、今回、拡充された子ども向けのドラマやドキュメンタリーなど 6 部門で、他部門とは別に 2 月 8 日(アメリカ現地時間)に受賞作が発表された。

### 《近年のNHK受賞番組》

2012年「ニュース部門」: 東日本大震災 緊急ニュース(2011 年 3 月 11 日・12 日放送)

2011年「時事問題部門」: NHKスペシャル「奇跡の生還 ～スcoop チリ鉱山事故の真実～」  
(2010 年 10 月 24 日放送、49 分)

2009年「コメディ部門」: 特集「星新一ショートショート」(2009 年 2 月 27 日放送、30 分)